ー 未来へつなぐ 富山市の教育 ー

Sign（サイン）

vol.6
2023

特集

非認知能力を引き出す。

コラム Column

「学ぶ」を学ぶ～感動のマイバラード～

石本沙織（いしもと・さおり）
1980年生まれ　富山市出身（現在神奈川県逗子市に在住）
富山市立西田地方小学校　富山市立南部中学校
富山県立富山高等学校　早稲田大学卒業
2003年フジテレビ入社　2023年3月に退社

気が付けば、今年もあとわずか。ハロウィンが終わったかと思ったらそそくさと飾りを片付けて、あっという間にクリスマスの飾りを出す時期に。そうかと思えば大晦日の足音が聞こえ始めるという本当に忙しい時期に突入です。まさに先生方も走り回るほど忙しい師走。なんとか無事に乗り切りたいものです。

さて、先日とても貴重な機会がありました。芝園小学校で行われている「新たな学び」の場を実際に見学させていただきました。この「新たな学び」というのは、「問題解決的な学習＝PBL（Project Based Learning）」といって、知識の暗記などの受動的な学習ではなく、子どもたち自らが問題を発見してそれを解決する能力を養うような教育のことだそう。実際に授業を見学させてもらい……驚きました！みんな立ったり座ったりも自由。パソコン片手にホワイトボードや黒板を自由に使い、自然に集まったグループやもしくは個人が、自分たちでどんどん問題点や課題点を考え、パソコンや資料集などで情報を収集して話し合う。そしてそれを整理して分析し、最終的には表現・発表していくそうです。

す……すごい。形骸化されて眠気との闘いと化している大人たちの会議の類いよりも、子どもたちの方が何倍も生産性のある有意義な進め方をしているかもしれません。これはまさに、「学び方を学んでいる」のだと感じました。

2045 年にも AI が人間の知性を超える、いわゆるシンギュラリティ（技術的特異点）が到来するのではないかといわれています。今の子どもたちにこれから必要とされるのは、機械のように「正解」を導き出す力ではなく「課題」を導き出す力。そして AI にはない「心」をもって「想像」し「創造」する力なのかなと。どんな未来がやってくるのかわかりませんが、今日の子どもたちを見て「未来は明るい！」と希望を持てました。

そして午後は待ちに待った特別授業！5年生の皆さんに、私たちアナウンサーがやっている実際の発声練習、滑舌練習、原稿読み、そしてインタビューの実践からプレゼンまで体験してもらいました。そんな中、実は授業を進めながら「インタビュー＆プレゼンも、よく考えたら立派な PBL なのでは？」と気が付きました。課題設定（質問内容を考える）→情報収集（実際に話を聞く）→情報の整理・分析→そしてまとめる・表現する（プレゼン）。まさに PBL ですね。

そして授業も最後。子どもたちの楽しそうな笑顔やキラキラした目を見て、「一生懸命準備して良かったなぁ……」とホッとしていると、最後に思わぬプレゼントが。なんと5年生の皆さんが歌を歌ってくれたのです！曲は私も合唱コンクールで歌ったことのある大好きな曲「マイバラード」！しかも事前に用意したものではなく、私が小学校の時に合唱部で歌が大好きだったことを聞いた先生や子どもたちが、急遽お礼にと考えてくれたそうです。あまりに感動して、私も主催した富山市教育委員会の方たちも思わず目頭が熱くなりました。私にとって学びの多い一日でしたが、さらに子どもたちから感動とパワーをもらった忘れられない一日となりました。芝園小学校の皆さん、ありがとうございました！

芝園小学校での授業の様子

学校再編新聞

三成小・八尾中で統合後アンケート実施

三成小・八尾中共に約9割が「統合して、よかった・どちらかというと良かった」

富山市教育委員会は、本年12月、統合後の学校の児童生徒へ行ったアンケート調査を公表した。

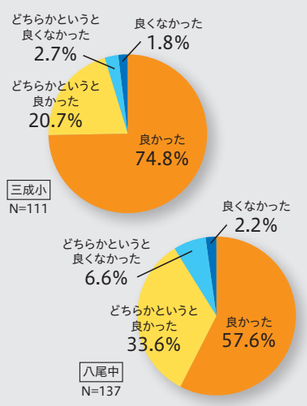
調査は令和4年4月の統合前の学校生活を経験している、三成小学校3～6年生の115人と八尾中学校3年生の158人を対象に本年10月に実施され、概ね9割の回答を得た。

調査結果によると、三成小学校では、回答者の約7割が統合してよかったと回答。また、八尾中学校では約6割で同様の回答となっている。

主な理由としては、「新しい友だちができた」、「学校がにぎやかになって、楽しい」といったことが挙げられた。

一方、統合がよくなかったと答えた理由には、「休み時間にけんかをすることが多くなった」や、「新しい友だちとなかなかなじめない」といった回答もあった。

こうした結果を受け、市教育委員会では、統合後の児童生徒の心理的負担軽減のため、統合が決まった学校同士の事前交流をさらに推進することとしている。



＝富山市教育委員会提供

YouTubeやってます!

発行・編集　富山市教育委員会事務局学校再編推進課
電話　076-443-2241　E-mail:gakkousaihen@city.toyama.lg.jp

ニューズレターのタイトル「Sign」
私たちは、「保護者」、「学校」、「市」がこのニューズレターを通じて野球のような「サイン」を送り合うという意味を込めています。

Jenaplan（イエナプラン）

～「教える」から「育てる」へ～

―オランダのイエナプラン教育―

オランダのイエナプランスクールでは、教科等の指導において「できる・できない」だけで評価するのではなく、一人の子どもの育ちをあらゆる面から総合的に判断することを大切にしています。

そのため、学校生活においては、子どもが自己選択と自己決定ができる場が多数あり、教員は必要な情報（学習内容や活動に関することなど）を子どもに教示し、子どもの取り組みの様子を見守りながら学びの状況を見取り、把握し、必要に応じて支援しています。

こうしたことから、子どもも自分の学習は自分で進めることを基本に、「学習する場所」や「方法（プリント、タブレット、一人で、仲間となど）」を決めて取り組んでいます。

「主体性のある子どもの育成」の推進

保護者や地域との協働

未来へつなぐ富山市の教育

多様な学びの場の提供

Project Based Learning

自分で学ぶ力を育てる できた喜びを感じる

当日の模様を YouTube で紹介しています。

―富山市が推進する「イエナプラン的教育」とは―

今日の学校教育は、子どもたちの多様化や人口減少・少子化、教員の長時間労働など様々な課題に直面しています。

こうした課題に対応するため、学習指導要領の着実な実施や教員の働き方改革、GIGAスクール構想に取り組むとともに、一人ひとりの子どもを主語にした学校教育を進めていくことが時代の要請であり、まさに学校教育にとっては極めて重要な転換期を迎えています。

富山市では、「今こそ原点に立ち返って教育の在り方を考えなければならないとき」と考えており、「対話」や「真正性」、「批判的思考に向けた養育」などイエナプランの8つのミニマムや、「理想の人間像」、「理想の社会像」、そして「理想の学校像」といったイエナプラン20の原則などイエナプランの理念やコンセプトを取り入れ、教員の意識改革や授業改善を進める、つまり「イエナプラン的教育」を推進しています。

◀子どもの作品がいたるところに並ぶ

自分で活動を選択する▶
4～5歳児グループ

―問題解決型学習（PBL）の推進―

富山市は問題解決型学習（PBL）を推進しています。

令和五年十月二十七日に芝園小学校で開催した「新たな学び体験会」では、六年一組の子どもたちは社会科の学習において、すぐに正解が判断できない問いである「織田信長と豊臣秀吉、『天下統一』に向けて働きが大きかったのはどちらだろうか」をテーマに、外国とのつながりやそれぞれの政策などから両者の違いや共通点を探し、教科書や資料集、時にはChromebookを活用しながら多角的・多面的に比較していました。

また、「一人」で学習したり、「仲間」と相談したり、議論したりしながら自ら立てた課題（仮説）が正しいのか、違う結論があるのか、を考察していました。

こうした学習を繰り返し行うことで、学習への意欲を高め、多様な意見にふれながらものの見方や考え方を身につけ、課題解決のための思考力・判断力・表現力を培います。

―保護者と芝園小教員との意見交換―

この「新たな学び体験会」には、再編対象となっている学校の保護者の方々が参加し、学習を見学した後、担任の教員と率直に意見交換しました。

保護者　子どもが主体的に取り組んでいることが分かりましたが、こうしたスタイルが苦手な子どもにはどう対応しているのですか。

担　任　生きていくなかでは、教えてもらうことばかりではありません。私たちは、「自分で学ぶ力」を育てたいと思っています。苦手な子どもには、一人ひとりに声をかけ、仲間と繋いだり、話をよく聞くことで少しずつ「できた喜び」を感じてもらえるようにしています。また、対話だけではなく、Chromebookを利用して仲間の考えも知ることができます。

令和5年度 教育フォーラム

未来へつなぐ富山市の教育～「教える」から「育てる」へ～

これまでと今、そして、これからの教育は何が変わるの？

【基調講演】
苫野 一徳 氏
（熊本大学教育学部准教授）

【シンポジウム】
◆コーディネーター
石本 沙織 氏（元フジテレビアナウンサー）

◆シンポジスト
苫野 一徳 氏
リヒテルズ 直子 氏【オンライン参加】
（一般社団法人日本イエナプラン教育協会特別顧問）
山内 敏之 氏（名古屋市立山吹小学校校長）
宮口 克志　（富山市教育委員会教育長）

日時　2024年1月20日（土）
15:00～17:40（開場14:30）

会場　富山国際会議場3Fメインホール
（富山市大手町1-2）

入場無料

どなたでも参加できます

2024年1月10日（水）までに
右QRコードまたは電話にて
お申し込みください。
☎ 076-443-2135（学校教育課）

主催：富山市教育委員会